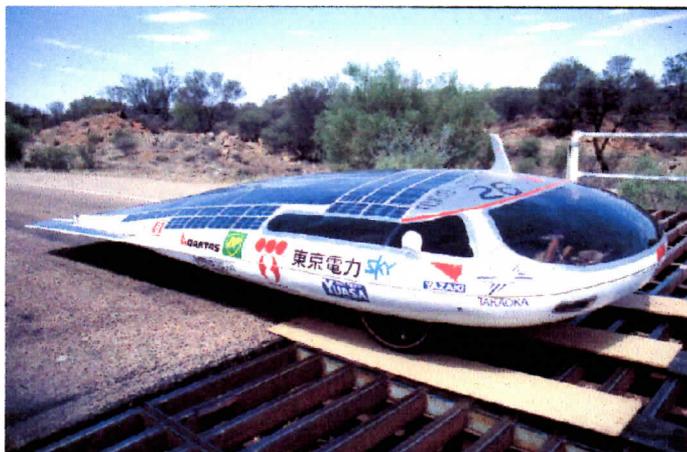


会社概要



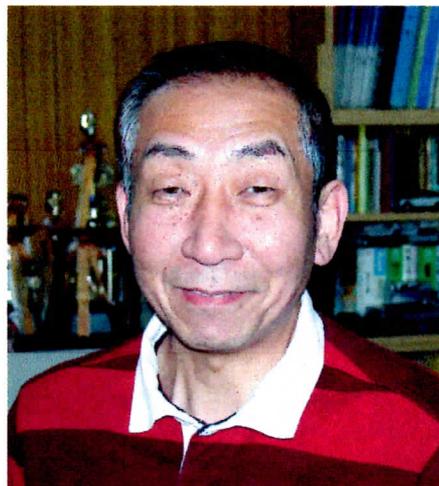
有限会社 ハマ零



○こんな会社です！

月でレースをやったら面白いと思いませんか・・・

メーカーでロケット制御技術の開発に携わり、退社後”なんでも開発会社”を設立し、在籍時からのお付き合いと自身の興味で宇宙開発に関わる試作・開発のお手伝いや太陽電池やメカトロ装置の応用開発についてお手伝いさせていただいています。ほとんど趣味のように思われていますが、クリーンエネルギーによる移動手段として太陽電池によるモータ駆動の二輪、四輪、船舶を製作して自然エネルギー活用のPRをしています。これは、他の人が思いつかなかった独創的アイデアの殆どは、『遊ぶ気持ち』の中から生まれました。新しい乗り物を作ることも、技術的な困難をクリアして宇宙探索機を製作することも『この方法ではできないじゃなくて、これならいけるかも』って思いながら開発に取り組んでいます。



○会社概要

会社名	有限会社 ハマ零		
所在地	浜松市東区有玉西町 2358 番地 TEL : 053-474-8048 FAX : 053-475-9818		
設立年月日	平成 2 年 7 月 28 日	資本金	3,000,000 円
事業内容	1. 新エネルギー利用に関する技術企画・コンサルティング 2. メカトロニクス技術の調査・研究・開発・設計・試作 3. ソーラーシステム関連機器の企画・販売 4. 新素材の利活用技術の研究・開発 5. その他関連業務全般		
役員	代表取締役 山脇 一(やまわき はじめ) 取締役 山脇 雅美	社員	1名
決算期	4月末		
取引銀行	静岡銀行 上島支店 口座：普通預金 0240107 (有)ハマ零 代表取締役 山脇 一		
主要取引先	NHK エンタープライズ 21 株式会社 京セラ 株式会社 昭和シェル石油 株式会社 株式会社 ユアサコーポレーション 株式会社 高丘製作所 東京電力 株式会社	株式会社 本田技研工業 株式会社 IHI エアロスペース 矢崎総業 株式会社 関西電力 株式会社 エンケイ 株式会社 株式会社 TAN-EI-SYA	

○静岡理科大学 機械工学科非常勤講師 〒437-8555 袋井市富沢 2200-2 TEL0538-45-0111(代)

○代表者沿革

1952 大阪で生まれる

1970 静岡県立城北工業高校在学中に実車の『スバル 360』をラジオコントロール・カーに改造、新聞に掲載される。

1971 新聞の記事が縁で 日産自動車 株式会社 に入社 宇宙航空部 実験課、研究課に配属

1986 株式会社 メイテック 入社

1990 有限会社 ハマ零 創業

○ハマ零 = 山脇 一 開発系譜



- 1967 オートバイを自作
- 1970 実車の『スバル360』をラジオコントロール・カーに改造
- 1971～1986 ロケットエンジンの燃焼や制御技術の開発、エアバック、産業用ロボット、織機などの開発にも携わる



1982 昭和58年 シェル・カーグラフィックマイルレヅマラソンに太陽電池とガソリンエンジンのハイブリッドエコノミーカー【サンシャイン号】を製作して参加。加速時にガソリンエンジン、巡航時は太陽電池の発電でモータ走行するハイブリッド機構を搭載していた。

1985 マイレヅマラソン（於：鈴鹿）に自身が開発・設計したセラミックスエンジン（京セラ 製造）と太陽電池による車内ベンチレーションシステムを搭載したエコノミーカーで参戦する。

1987 豪州大陸を縦断する世界初のソーラーカーイベント第1回ワールド・ソーラー・チャレンジ（WSC）に【ゼロファイター】で参戦。日本からの出場ソーラーカーは次の4台。
ゼロファイター（ハマ零 山脇一氏）、フィーバス（ホクサン）、サザンクロス（SEL：半導体エネルギー研究所）、NTV-レイトンハウス Solar Japan（ソーラージャパン 江口倫郎氏）



1988 【ソーラーポート1号】を開発、海での周回試験に成功。
 1989 折りたたみサイズの小型ソーラーカー【ソーラーマウス】を開発。
 1990 カナディアンカップ・ソーラーカーレース（公道約500km）に参加、クラス1位、総合2位。並行してソーラーカー【Ninja 忍者】を開発し、第一回朝日ソーラーカーラリーに【ソーラーマウス】と【Ninja】で参加。【ソーラーポート2号】製作



WSC990 に東京電力の出資で製作した新型【Ninja】で参加。15日間かけて完走する。【ソーラーポート3号】、

【ソーラーオートバイ1号】製作

1991 北海道北見市で開催された、「ソーラーチャレンジ in 北海道1991」に【ソーラーマウス】で参加。

1992 「1992 ソーラーカーレース鈴鹿」に【忍者II 夢果号】で参加。
 「ソーラーカーラリーin能登」に2人乗り【夢果号】で出場。
 1993 【ソーラーオートバイ2号】製作
 1994 「1994 ソーラーカーレース鈴鹿」に【ユメカ】で出場。



1995 「'95 朝日ソーラーカーラリーin 神戸」に超小型ソーラーカー「英（サヤカ）」で出場。

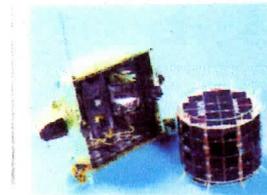
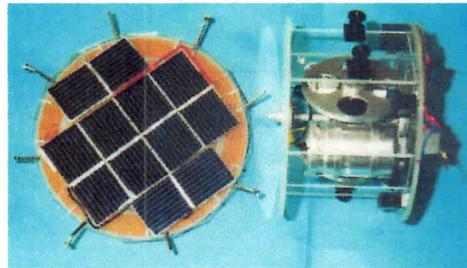
「阪神淡路大震災」の神戸の街に、ソーラーシステムを搭載した運搬用トラックで避難中の人へのシャワーを提供した。「コスモ石油カップソーラーカーレース 鈴鹿'95」、第1回 WEM (World Econo Move) に出場。0~100 の平均際速度記録 (75.79 km) を樹立。



1996 第4回「WSC1996」に400Wクラスの小型ソーラーカー「一美（ヒトミ）」で参加、3,000 kmレースで世界最小記録（バトラーアロード）を受賞。



1998 日産自動車時代の交流のあった宇宙科学研究所が開発していた小惑星探査機【はやぶさ】に搭載した惑星探査ローバー【ミネルバ】の排出と移動機構の試作・開発に携わる。2003年に発射され、2005年に小惑星【イトカワ】に到達。



探査ローバ
MINERVA

○ソーラーカー

1998年以降は、改造型の一美号、英号などで各種ソーラーカーレースに出場。

○ソーラーボート

1999

柳川ソーラーボート大会をはじめとする、各種大会等に参加しつつ、現在も新型のジェットボートの開発を継続中。

○ソーラーオートバイ

2000年に【隼号】で日本列島縦断に成功。2002以降は浜松オートレース場で開催するエコバイクレースの企画に携わりながら各種レースやイベントに新型オートバイを製作して参加中。

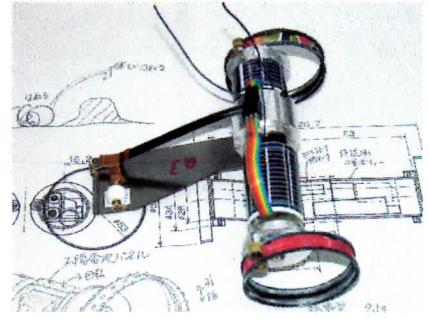


○その他の開発

日産時代の人的な交流から宇宙関連の開発(探査用車両の移動機構等)や炭素繊維材料やチタンやマグネシウム材料の新しい活用方法などにも取り組んでいます。また、太陽電池のノウハウの蓄積による太陽光発電の応用技術についても取り組んでいます。

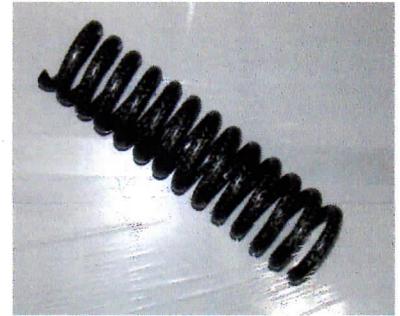


月面探査機用車輪の試験



探査機の移動機構試作品

CFRP 炭素繊維コイルスプリング



雪上ソーラーバイク開発チャレンジ 2016年5月下旬試走

